

2009年10月19日

報道各位

日本たばこ産業株式会社  
株式会社加ト吉

食の安全管理強化に向けた取り組み  
「東京品質管理センター」10月20日より稼動を開始

日本たばこ産業株式会社（本社：東京都港区、社長：木村 宏、以下「JT」）の子会社、株式会社加ト吉（本社：香川県観音寺市、社長：山田 良一）は、更なる食の安全管理の強化を図るため、加工食品等の検査拠点「東京品質管理センター」（東京都大田区）を新設し、10月20日より稼動を開始します。

JTグループでは、最高水準の安全管理を推進すべく、グループ一丸となって、「リスク低減に向けた取り組み」「お客様への対応の強化」「組織・体制の強化」を3つの柱とした抜本的な強化策を展開しています。

その一環として、品質管理機能と研究開発・商品開発機能との連携を更に強化するため、既存品質管理機能（茨城県猿島郡境町）を統合し、JT飲料事業及び加ト吉加工食品事業等における研究開発及び商品開発拠点である「食品開発センター」と同じ敷地内に「東京品質管理センター」を新設することとしました。

東京品質管理センターでは、JTグループの加工食品（冷凍食品、常温食品）等を対象に、微生物検査、官能検査、品位検査に加え、最新の設備により、残留農薬450項目、動物用医薬品100項目をはじめ、食品添加物や重金属検査等、従来よりも更に機能を強化し、広範且つ迅速な検査を実施してまいります。今回の「東京品質管理センター」の新設により、JTグループにおける加工食品等の検査拠点としては、国内は東京・香川、中国は青島の3拠点体制となります。

JTグループでは、検査機能の強化はもとより、これまで以上に商品の企画・開発の段階から安全管理に十分配慮した取り組みを推進することにより、お客様に安心して、おいしくお召し上がりいただける商品づくりを進めてまいります。

■ 東京品質管理センター 施設概要

名 称 : 株式会社加ト吉 東京品質管理センター  
所在地 : 東京都大田区羽田旭町5-14 食品開発センター 3階  
面 積 : 約1,240 m<sup>2</sup>

<建物概要>

構 造 : 鉄筋コンクリート造 3階建て  
延床面積 : 約3,880 m<sup>2</sup>  
総工費 : 約13億円